

琉球大学工学部紀要

第 76 号

BULLETIN

OF THE

FACULTY OF ENGINEERING

UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

NO. 76



FACULTY OF ENGINEERING

UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

NISHIHARA, OKINAWA, JAPAN

August 2015

Editorial Committee

Editor-in-Chief

Kozo NAKADA

Editors

Shoichi Matsuda

Shigemi HARADA

Tomoki MIYAZATO

Toshiyoshi UZA

目 次
CONTENTS

仲座 栄三 相対性理論：物理学界はこれまでに何を証明してきたか？ …………… 1
Eizo NAKAZA Relativity: What has the physics world proven?

平成 26 年度研究業績（2014 年 4 月～2015 年 3 月）

機械システム工学科 …………… 6
環境建設工学科 …………… 10
電気電子工学科 …………… 20
情報工学科 …………… 26

退職者紹介 …………… 30

相対性理論：物理学界はこれまでに何を証明してきたか？

仲 座 栄 三 *

Relativity: What has the physics world proven?

Eizo NAKAZA

Abstract

The year 2015 marks 100 years universally since Einstein has first proposed the general theory of relativity. Numerous experiments have been conducted by the physics world to corroborate Einstein's theory. Here the author shows that, instead, they have rather indicated erroneously in our interpretation of the theory of relativity. Einstein's theory of relativity states "a clock in a moving system ticks slower than a clock in a stationary system." And also that "clocks at a lower elevation show the time dilation to a clock at a higher elevation under a gravitational environment." Contrary to this, all of them have shown exactly the same tempo is revealed. As a result, the commonly accepted concept that space should be strained due to gravity must be also denied. It is clear that the traces of light propagation have been observed as the curvature of space even though it should be indicated by a Cartesian coordinate system.

Key Words : relativity, time dilation, length contraction, twin paradox, Doppler shift

1. 序論

2015年は、アインシュタインが一般相対性理論を発表してからちょうど100年に当たる。アインシュタインの特殊相対性理論は、「運動系の時間は、静止系の時間に対して遅れる」と説明している¹⁾²⁾。その結果、アインシュタインの特殊相対性理論からは、双子のパラドックスなど、時間や長さに係る数多くのパラドックスがこれまでに派生され、今日に至るまで多くの論争を巻き起こしてきている³⁾⁴⁾⁵⁾⁶⁾。

アインシュタインの相対性理論によって予測される時間短縮効果を実測しようとする試みは、これまでに数多く実施されてきている。例えば、Ives & Stilwell (1938, 1941), Rossi & Hall (1941), Pound (1959), Hey et. Al. (1960), Sachs (1971), Hafele & Keating (1971), Alley (1979, 1981), Vessot (1979), NPL (2005, 2010)などが挙げられる⁷⁾¹⁷⁾。原子時計の精度は年代と共に着実に高められ、実験結果はアインシュタインの相対性理論による予測値と0.0001%以下の誤差を以て一致していることが報告されている。

今日、原子時計の原理については、原子レベルの物理的メカニズムまでも解明されている。それにも関わらず、原子時計が運動系でいかように時間的短縮を示すのかに

についての物理的メカニズムは、寸分も解明されていない。音や光のドップラーシフトが、物理的に明確であるという一方で、原子時計の時間短縮メカニズムについて何らの手がかりさえも得られていないという点に、本研究の主張の拠り所の一端を見出せる。

これまでに物理学界が巨額の予算を投じて航空機やロケットを飛ばし確かめようとしてきた実験の目的の本分は、本来、原子時計がいかような物理的メカニズムで遅れるかを示すための実験にこそ見出せるべきものであったと言えるのではなからうか。

一方、運動系の時計が静止系の時計に対して実際に遅れるのであれば、L. Essen (1971)¹⁸⁾も指摘しているように、静止系と運動系の対称性が崩れ、相対性理論構築の前提条件に破たんを来す。したがって、これまでに物理学界が正しいものと示してきた実験結果は、「運動系の時計の時間短縮」としての解釈を捨て、まったく別の観点からの解釈が必要とならう。

本論では、地上の観測者に対する星の移動速度を算出する際に、「ある元素の放つ光の周波数とその光源(星の)位置において、地上の比較光の周波数とまったく同じとなっていなければならない」という前提条件に拠っている事を論拠として、「運動系の時計は静止系の時計とまったく同じテンポで時を刻んでいなければならない」ことを示す。ついで、この事実を説明できる新たな相対性理論を示し、物理学界がこれまでに与えてきた数多くの実験結果に対する正しい解釈を提示する。

受付：2015年6月26日，受理：2015年6月26日

*工学部環境建設工学科

(Department of Civil Engineering & Architecture,
Faculty of Engineering, University of the Ryukyus)

2. 運動系の原子時計と静止系の原子時計の示す同時刻

星の地球に対する相対速度を測る際には、その星が放つ光の周波数（星に座す観測者に観測される周波数）と、それに対応して地球上で観測される比較光の周波数とがドップラー効果の分だけシフトしていることを前提としている。このことは、星の位置において（運動系において）ある元素が放つ光の周波数は、その比較光が静止系において示す振動数とまったく同じものとなっていることを意味している。この事実を、静止系の振動数とまったく同じ振動数を持つ光が運動系から放たれたときに、静止系の観測者にはそれがドップラーシフトして観測されるものであることを意味している。このことから、「運動系の原子時計は、静止系の原子時計とまったく同じテンポで時を刻んでいなければならない」とする結論へと導かれる。

したがって、「航空機搭載した原子時計の示す時間の遅れ」としてこれまで説明されてきたことは、そうではなく、航空機に搭載した振動数カウンタに伝えられる静止系の局からの基準時間が短縮していたことになる。この時間短縮は、運動系の時計が静止系の時計と同じテンポで時を刻んでいることによるのみ正しく検出可能である。

運動系の原子時計と静止系の原子時計とはまったく同じ時間を示していたにも関わらず、静止系から届く基準時（短縮している）に同期させられた運動系の周波数カウンタは、「運動系の原子時計の示す時刻が短縮している」と誤った判断を与えたのである。

以上の考察に従えば、これまで物理学界が示してきた「重力環境下の異なる 2 標高間で時計が遅れる」とする観測値も、光が伝える時間の短縮効果の存在を単に表していたことになる。このとき、空間に配置された時計のすべては、等しく同じ時間を刻んでいなければならない。

空間に加速度（すなわち、重力）が存在するとき、空間自身は直交座標系で表されるものであっても、加速度が生み出す相対速度の空間分布によって、光の伝播軌跡が表す空間は静止系の観測者に歪んで観測される。「重力の効果で空間そのものが歪んでいる」とする従来の解釈は、よく考えてみると、あたかも空間を形成する物質の存在を示唆させ、まさにエーテルの存在説の復活をほうふつさせる。空間が歪んでいるとする着想は、重力の素粒子論的考察を阻害することになる。

したがって、重力波を観測しようとする現代物理学の試みはその理論的枠具に関して再考を迫られよう。まず、すべての空間を直交座標系で表した上で、加速度の存在する空間で光の伝播が示す時間情報の遅れを考慮し、重力波の本質を素粒子論的に見直さなければならない。

3. 新相対性理論の提示

1905 年、アインシュタインが提示した特殊相対性理論は、次のように表される^{1),2)}。

$$T = \frac{1}{\sqrt{1-v^2/C^2}} \left(t - \frac{vx}{C^2} \right) \quad (1)$$

$$X = \frac{1}{\sqrt{1-v^2/C^2}} (x - vt) \quad (2)$$

$$Y = y \quad (3)$$

$$Z = z \quad (4)$$

ここに、 T は運動系の時間、 t は静止系の時間、 (X, Y, Z) は運動系の空間座標、 (x, y, z) は静止系の空間座標、 v は静止系から観測される運動系の相対速度、 C は光の速さを表す。ただし、運動系と静止系とが共に静止しているとき、両系の時計の精度や時を刻むテンポは互いに等しく、実験の開始時に両時計は共に零時にセットされている。このとき、両系の X 軸と x 軸、 Y 軸と y 軸、 Z 軸と z 軸とは、それぞれ互いに重ねてあり、運動系は初期の姿勢を保ったまま、 x 軸に沿って一定速度で移動を開始する。

式 (1) にもとづいて、アインシュタインは、次なる関係を与えている。

$$T = \sqrt{1-v^2/C^2} t \quad (5)$$

この式をもとに、アインシュタインは、「地球の赤道に静置されている時計は、地球の極に静置された時計に対して実際に遅れる」と説明している。アインシュタインが提示した式 (5) に示す「時間の関係」を実証するために、物理学界は数多くの実験を行ってきたことは、はじめに紹介したとおりである。

仲座 (2014)¹⁹⁾ は、式 (1) ~ (5) に示す関係式の解釈の誤りを指摘し、運動系の時間 T と静止系の時間 t は、いかなる時点においても互いにまったく同じテンポで時を刻むことは、静止系と運動系とが互に対称性を成すための要件であるとし、次なる関係式を与えた。

$$T = t \quad (6)$$

式 (6) の関係式の成立は、相対性原理によって保証される。

次に、式 (1) ~ (4) に代わる関係式として、静止系の観測者が運動系を互いに静止した関係となって観察するために必要となる座標変換を次のように与えている¹⁹⁾。

$$t' = \frac{1}{\sqrt{1-v^2/C^2}} \left(t - \frac{vx}{C^2} \right) \quad (7)$$

$$x' = \frac{1}{\sqrt{1-v^2/C^2}} (x - vt) \quad (8)$$

$$y' = y \quad (9)$$

$$z' = z \quad (10)$$

$$f' = \frac{\sqrt{1-v/C}}{\sqrt{1+v/C}} f \quad (14)$$

ここに、 t は静止系の観測者 A の時間、 t' は座標変換を経た後の静止系の観測者(これを以下、観測者 A'と呼ぶ)の時間、 (x, y, z) は静止系の空間座標、 (x', y', z') は観測者 A'の空間座標を表す。この座標変換の原理は、一般相対性理論に対しても適用される。

座標変換を経た後の静止系の観測者 A'は、運動系の観測者 B と互いに静止した関係となって運動系内の力学を観測することができる。このとき、座標変換を経た後の静止系の観測者 A'の時間 t' と静止系の時間 t の間には、次なる関係が成立する。

$$t' = \sqrt{1-v^2/C^2} t \quad (11)$$

また、静止系の観測者 A が、静止系から眺めた運動系の運動方向の長さ l と、座標変換後に運動系の観測者と互いに静止した関係となってその長さを測定したときの長さ l' とは、次なる関係が成立する。

$$l' = \frac{1}{\sqrt{1-v^2/C^2}} l \quad (12)$$

座標変換によって、運動系の観測者と互いに静止した関係となった静止系の観測者 A'が、運動系の観測者 B に伝える時間や長さは、式 (11)、式 (12) そして式 (9) 及び式 (10) の左辺に示すダッシュ付の量で与えられる。逆に、静止系の観測者が運動系の観測者と互いに静止した関係となって運動系内で得た時間や長さに関する情報はすべてダッシュ付の物理量で表されており、それが式 (11)、式 (12) そして式 (9) 及び式 (10) の関係式を通じて静止系に伝えられる。したがって、静止系の時間は、運動系の観測者 B に短縮して観測され、逆に運動系の時間は静止系の観測者 A に延長して観測される。

静止系の時間が、運動系の観測者に短縮して観測されるものであることは、L. Essen も指摘していた¹⁸⁾。

L. Essen¹⁸⁾は、静止系から放たれた光の振動数が、運動系から眺めるとドップラーシフトして観測されることを、次のように説明している。

まず、古典的取扱いにおいて、ドップラー効果は次のように与えられる。

$$f' = \frac{1}{1+v/C} f \quad (13)$$

ここに、 f' は運動系の観測者に観測される光の周波数、 f は静止系の光源の振動数である。

式 (13) に示す関係に、運動系の観測者が観測する静止系の時間の短縮効果(式 (11))を適用すると、次のように相対論的ドップラーシフトの関係式を得る。

L. Essen¹⁸⁾は、このような考察を与えたものの、彼は、この問題を、最終的には観測者の時間単位の違いとして片づけてしまった。

ここで、式 (13) 及び式 (14) を得る際には、静止系及び運動系における時計がまったく同じテンポで時を刻むことを前提としている。特に、式 (13) に関しては、古典力学における音のドップラーシフトを考えると容易に理解される。音のドップラーシフトは、音源の振動数が両系でまったく同じとなることを前提に導かれている。

このように、両系で音源や光源の振動数がまったく同じとなっていなければならないことは、地球に対する星の相対速度を求める際の前提として第 2 章で議論した内容と同じ意味を有する。

4. 静止系から運動系に届く光が伝える時間情報

静止系から放たれた光が運動系に伝える時間情報は、式 (11) で示されるように、時間短縮している。運動系が静止系に対して静止している場合にのみ、時間情報は短縮することなく伝達される。

例えば、静止系から放たれた光が運動系に到達するのに 20 秒を要したとしよう。この 20 秒というのは、運動系の観測者が観測した時間であるが、静止系からその様子を観測している観測者に観測される時間もまったく同様に 20 秒である。

しかしながら、静止系から運動系に到達した瞬間の光が運動系の観測者に伝える時間情報は、その 20 秒よりも短縮していて、例えば 10 秒であるというのが、式 (11) の意味するところである。

これに対して、静止系から運動系に到達した瞬間の光が伝える時間情報は、静止系の観測者の観測値と同様に 20 秒であり、運動系の観測者の測った時間は 10 秒であるというのが、アインシュタインの式 (5) の意味するところである。しかし、このことは、自らのドップラーシフト理論に反する。静止系から運動系に到達する光は、運動系内の観測者にドップラーシフトして観測されることの物理的メカニズムは明白である。

静止系で離れた 2 点間を光が伝播するには時間を要する。これと同様に、静止系から一定速度で遠ざかる運動系に、静止系から放たれた光が到達するには、運動系が静止系に対して静止している場合よりも時間を要する。この考察から、アインシュタイン流の時間設定は容易に否定される。

また、物理学界がこれまでに行ってきた実験結果がなぜ理論的予測通りになったのかについては、以下のように容易に説明される。

アインシュタインの想定とは異なり、静止系から運動系に到達した光が伝える時間情報は、実際に短縮してい

て10秒であった。これに対して、運動系内で経過した時間は静止系と同じく20秒であり、その間に時計は20パルスを発したとしよう。このとき、運動系と静止系の時計の発する振動数は互いに等しく1パルス/秒である。

これに対して、運動系の時計のパルスを、短縮した時間10秒（静止系から届く光が伝える時間）を基準として測定すると、2パルス/秒となり、その逆数である時間単位は1/2秒となって、「運動系の時計の示す時間は短縮している」と測定される。この誤った解釈が、従来の物理学界の示してきた運動系の時計の時間短縮と考えられる。

重力が時間に及ぼす効果もまったく同じであり、異なる標高間を伝播してきた光が伝える時間情報が短縮していた結果、「標高の違いによって時間が短縮する」とする誤った解釈を引き起こすことになったと考えられる。

重力の作用する環境下であったとしても、いかなる標高に置かれた時計もまったく同じように時を刻む、その結果、重力によって空間にひずみが生じるのではなく、光の伝播が伝える時間情報に時間短縮が存在するがゆえに、観測者にはそれが空間のひずみとなって観測される。

したがって、重力が空間に近接作用を及ぼしたのではなく、「重力が光に近接作用を及ぼした」と解釈しなければならないとする結論へと導かれる。この帰結は、重力と光との近接相互作用の存在を示唆し、素粒子論の発展に寄与するに違いない。

アインシュタインは、相対性理論を構築するにあたって、相対性原理と光速不変の原理を導入した^{1),2)}。光速不変の原理の導入こそが、式(5)の関係をもたらせると共に、100年間以上にも亘って、人々の思考を束縛してきたのではないかと考える。

5. 結論

物理学界は、これまでに巨額の費用と膨大な時間をかけてアインシュタインの相対性理論の正しさを示そうとしてきた。しかし、それらの実験結果のすべては、残念ながら、逆に、我々の相対性理論の解釈の誤りを示し続けてきたと結論されよう。

「相対性理論によって変換された静止系の時間や空間座標は、運動系のそれらに等しい」とするアインシュタインの考え方は正しくなかった。アインシュタインの相対性理論を生み出す背景にはガリレイ変換があった。したがって、従来の相対性理論に係る我々の解釈の誤りは、ガリレイ変換にその緒があったと言える。

仲座が与えた新相対性理論は、すべての系の空間に静置された時計がそれぞれまったく同様に時を刻むものであることを示し、そのことは相対性原理によって保証されるとしている。静止系から放たれた光が、相対速度の存在する場（運動系）に伝える時間情報は短縮している。逆に相対速度が存在する場から放たれた光が、静止系に伝える時間情報は延長している。

いかなる場でも空間自身は直交座標で表される。しかしながら、光の伝播に伴う時間情報の遅れが重力（すなわち、加速度）の影響を受けるため、静止系の観測者には見かけ上、光が表す空間が歪んで観測される。したがって、空間が重力で歪んでいるとする考えや、重力波を検出しようとする現代物理学の試みは、理論構築の再考を促される。

本論で取り上げた参考文献としては、本研究を説明する上で象徴的なものに限らせて頂いた。相対性理論に関する研究は、多岐にまたがり、そして膨大な量となっている。したがって、それらを網羅することは、今日、不可能に近いことといえよう。したがって、本論では、著者が必要とするものに限っていることを付記する。

謝辞

本研究を進めるに当たり、琉球大学工学部環境建設工学科の松原仁助教、理工学研究科博士後期課程の稲垣賢人君との議論は大変有益であった。ここに記し、感謝の意を表す。

参考文献

- [1] Einstein, A. (1923): The principle of relativity, Dover Publication, Inc., New York.
- [2] 内山龍雄(1988): アインシュタイン相対性理論, 岩波文庫, 187p.
- [3] Dewan, E. M. and M. J. Beran (1959): Note on stress effects due to relativistic contraction. American Journal of Physics (American Association of Physics Teachers), 27 (7)
- [4] Bell, J. S. (1987): Speakable and unspeakable in quantum mechanics. Cambridge, Cambridge University Press.
- [5] Kelly, A. G. (2000): Hafele and Keating tests: Did they prove anything?, PHYS ESSAYS, 13(4), pp.616-621.
- [6] 原田稔(2004): 相対性理論の矛盾を解く, NHK Books, 204p.
- [7] Ives, H. E. and Stilwell, G. R. (1938): An experimental study of the rate of a moving atomic clock, Journal of the Optical Society of America 28 (7).
- [8] Ives, H. E. and Stilwell, G. R. (1941): An experimental study of the rate of a moving atomic clock. II, Journal of the Optical Society of America 31 (5).
- [9] Rossi, B. and Hall, D. B. (1941): Variation of the rate of decay of mesotrons with momentum, Phys., Rev. 59, 3, 223-228.
- [10] Pound, R.V. (1959): Gravitational red-shift in nuclear resonance, Phys. Rev. Lett., 3, pp.439-441.
- [11] Hay, H.J. et al. (1960): Measurement of the red shift in an accelerated system using the Moss-bauer effect in Fe57, Phys. Rev. Lett., 4, pp.165-166.
- [12] Sachs, M. (1971): A Resolution of the clock paradox, Physics Today, 24, 23.
- [13] Hafele, J. C. and Keating, R. E. (1972): Around-the-world atomic clocks, Science 177, 166, and 168.
- [14] Alley, C.O. (1979): Relativity and clocks, Proc. 33rd Freq. Control Symp., pp.4-39.
- [15] Vessot, R.F.C. (1979): Relativity experiment with clocks, Radio Science, 14, pp.629-647.

- [16] NPL(2005): Einstein, News from the National Physical Laboratory, Winter 2005 | Issue 18.
- [17] NPL(2010): Time flies, News from the National Physical Laboratory, 8 September, <http://www.npl.co.uk/news/time-flies>
- [18] Essen, L. (1971): The special theory of relativity, A Critical Analysis, Oxford University Press (Oxford science research papers, 5).
- [19] 仲座栄三 (2014) : 双子のパラドックスを解く鍵はガリレイ変換にあった, 琉球大学工学部紀要, 第75号, 2014, pp.1-6.

平成 26 年度研究業績
(2014 年 4 月～2015 年 3 月)

平成26年度研究業績 (2014年4月～2015年3月)

機械システム工学科

【論文】

水口尚, 儀間悟, 野底武浩, 積層構造の多重効用海水蒸発濃縮器の性能予測-減圧缶内において100℃以下で加熱される傾斜濃縮器-, 日本海水学会誌, Vol. 68, No. 3, pp.180-187, 2014

M.Saitou, Characterization of Electrodeposited Ni and Ni Mo Thin Films by X-ray Diffraction, Int. J. Electrochem. Sci., Vol. 9, pp.6033-6042, 2014

鈴木正己, 天久和正, 水平軸風車の空力特性に関する数値解析, ターボ機械, Vol. 42, No. 6, pp.387-394, 2014

H. Nagashima, S. Tsuda, N. Tsuboi, M. Koshi, A. K. Hayashi, and T. Tokumasu, An Analysis of Quantum Effects on the Thermodynamic Properties of Cryogenic Hydrogen Using the Path Integral Method, Journal of Chemical Physics, Vol. 140, No. 13, pp.134506, 2014

Tsutomu Uchida, Keita Yasuda, Yuya Oto, Renkai Shen, and Ryo Ohmura, Natural Supersaturation Conditions Needed for Nucleation of Air-Clathrate Hydrates in Deep Ice Sheets, Journal of Glaciology, Vol. 60, pp.1111-1116, 2014

Sumio Kato, Takuya Kishimoto, Shoichi Matsuda, Keiichi Okuyama, Akihiro Watanabe and Naoyuki Shimada, Study of the Effects of Density, Thickness and Heat Load on Heat Shielding Performance of Phenolic Carbon Ablators Using a One-Dimensional Ablation Analysis Code, Trans. JSASS Aerospace Tech. Japan, Vol. 12, No. 29, pp.29-38, 2014

宮崎達二郎, 野田尚昭, 内木場卓巳, 李戎, 佐野義一, はく離強度の便利で正確な評価法の提案, 自動車技術会論文集, Vol. 45, No. 5, pp.895-901, 2014

名嘉海人, 眞壁朝敏, 宮崎達二郎, クラックアレスターとストップホールを用いた平板試験片のき裂進展抑制について, 圧力技術, Vol. 53, No. 2, pp.79-87, 2015

Masato Tanaka, Takashi Sasagawa, Ryuji Omote, Masaki Fujikawa, Daniel Balzani, Jörg Schröder, A highly accurate 1st- and 2nd-order differentiation scheme for hyperelastic material models based on hyper-dual numbers, Computer Methods in Applied Mechanics and Engineering, Vol. 283, pp.22-45, 2015

河野義樹, 田丸直也, 眞山剛, 近藤了嗣, 大橋鉄也, 双結晶モデルに生じるGN転位パターンの粒界傾斜依存性, 日本機械学会論文集, A編, Vol. 81, No. 824, 2015

Chobin Makabe, Takuya Nakayama¹, Masaki Fujikawa¹, Kazuo Arakawa and Dingding Chen, Effect of Specimen Thickness on Fatigue Limit in Carbon Composites, Advanced Materials Research, No. 1110, pp.13-18, 2015

Md. Shafiqul Ferdous¹, Kaito Naka, Chobin Makabe and Tatsujiro Miyazaki, A Review of Simple Methods for Arresting Crack Growth, Advanced Materials Research, No. 1110, pp.185-190, 2015

名嘉海人, 眞壁朝敏, 宮崎達二郎, クラックアレスターとストップホールを用いた平板試験片のき裂進展抑制について, 圧力技術, Vol. 53, No. 2, pp.25-33, 2015

【著書】

福本功, 自動車の軽量化テクノロジー, NTS, pp.245-253, 2014

M. Saitou, Observation of thermal roughening transition in nickel surface dissolved by an electrochemical technique, FORMATEX, 2014

【口頭発表】

吉野達也, 水口尚, 儀間悟, 岡野泰則, 温度差と濃度差に起因するマランゴニ対流の共存効果に関する数値解析, 第 51 回日本伝熱シンポジウム(アクティビティ浜松・コンgresセンター), 2014

菅沢幸大, 下川亮介, 永井秀和, 須藤雅夫, 水口尚, 固体高分子形燃料電池の膜内水分輸送に与える膜厚と運転条件の評価, 2014 年度日本海水学会第 65 年会(沖縄男女参画共同センター「ているる」), 2014

儀間悟, 水口尚, 井出駿, 諸泉正倫, 野底武浩, 積層型多重効用海水蒸発濃縮器の開発, 2014 年度日本海水学会第 65 年会(沖縄男女参画共同センター「ているる」), 2014

水口尚, 儀間悟, 平田駿, 野底武浩, 自動煎ごう平釜の開発, 2014 年度日本海水学会第 65 年会(沖縄男女参画共同センター「ているる」), 2014

水口尚, 吉野達也, 岡野泰則, HZ 液柱内の温度差と濃度差に起因するマランゴニ対流の共存効果に関する数値解析, 化学工学会第 46 回秋季大会(九州大学), 2014

菅沢幸大, 下川亮介, 水口尚, 須藤雅夫, 固体高分子形燃料電池の不飽和・不均一分布の膜内水輸送, 化学工学会第 46 回秋季大会(九州大学), 2014

水口尚, 吉野達也, 岡野泰則, 温度差と濃度差に起因するマランゴニ対流の共存効果とその制御に関する数値解析, 第 63 回理論応用力学講演会(東京工業大学), 2014

Hisashi Minakuchi, Satoru Gima, Yasunori Okano, Sadik Dost, Control of unsteady Marangoni convection by disk rotation and magnetic field in a liquid bridge under zero-gravity, 10th Asian Microgravity Symposium (Hotel President, Seoul, Korea), 2014

Masaaki Ishikawa, FLOW VISUALIZATION AND IMAGE ANALYSIS ON FLOWS AMONG BRIDGE BEAMS, The 16th International Symposium on Flow Visualization (Okinawa), 2014

Masaaki Ishikawa, Kazuki Hamamoto, Study on behaviors of micro-bubble flows in a cylinder container induced by a rotating disk, The 16th International Symposium on Flow Visualization (Okinawa), 2014

石川正明, 橋梁周りの海塩ミスト流れの解析, 第 42 回可視化情報シンポジウム講演論文集, 2014

石川正明, 濱元和樹, 回転円板によって誘起される容器回転流れのマイクロバブルの振る舞いに関する研究, 混相流シンポジウム 2014(札幌), 2014

K. Ameku, M. Suzuki, S. Tamaki, M. Futami, Numerical Analysis of Small Wind Turbine Generator Using Two-Dimensional CFD and BEM theory, Grand Renewable energy 2014, 2014

外間章悟, 若井謙介, 2 元燃料供給法を用いた予混合圧縮着火機関における燃焼制御, 自動車技術会 2014 年秋季大会産学ポスターセッション, 2014

近藤了嗣, 大橋鉄也, 繰り返し変形における振幅が転位パターン形成に及ぼす影響, 2014 年度年次大会(MECJ2014)講演会講演論文集, 2014

- 佐和田竜二, 福本功, 神田康行, ペレットサイズを変化させた月桃繊維射出成形体の機械的性質, 日本機械学会九州支部大分講演会講演論文集, 2014
- 神田康行, 福本功, 回転やひずみ自由度を有する三角形要素によるプレス成形の有限要素解析, 日本機械学会九州支部大分講演会講演論文集, 2014
- 山里將史, 福本功, 神田康行, アルミニウム合金粉末にフライアッシュを複合化した放電プラズマ焼結体の力学的特性, 粉体粉末冶金協会講演概要集平成 26 年度秋季大会, 2014
- 神田康行, 福本功, 稲福裕司, 炭化バガスにチタン粉末を複合化した放電プラズマ焼結体の力学的特性, 粉体粉末冶金協会講演概要集平成 26 年度秋季大会, 2014
- 鈴木正己, 天久和正, 乱流モデル無利用による水平軸風車特性の数値解析, 第 71 回ターボ機械協会講演論文集, 2014
- 鈴木正己, 空気砲による渦輪生成過程の数値シミュレーションと可視化, 可視化情報学会, 2014
- Masami SUZUKI, Air Compressibility effects on OWC Type Wave Power Generation, Proceedings of 2nd Asian Wave and Tidal Energy Conference (AWTEC-2014), 2014
- Masami SUZUKI, 3D-CFD Simulation and BEM Analysis of Horizontal Axis Wind, The 5th Asian Joint Workshop on Thermo physics and Fluid Science 2014 (5th AJWTF), 2014
- 鈴木正己, 振動水柱型波力発電装置の平均発電量予測, 2014 年度年次大会 DVD-ROM 論文集, 2014
- 鈴木正己, 永田修一, 瀬戸口俊明, 数値計算による潮流発電用水平軸タービンの性能予測, 海洋エネルギーシンポジウム 2014(OE2014)講演論文集, 2014
- 鈴木正己, 永田修一, 瀬戸口俊明, 衝動タービンを用いた固定式振動水柱型波力発電システムの発電量予測, 日本機械学会流体工学部門講演会講演論文集, 2014
- 喜屋武琢磨, 鈴木正己, 天久和正, 3 次元 CFD と BEM による風車解析の比較, 第 28 回数値流体力学シンポジウム講演論文集, 2014
- K. YOGI, S. KATO, S. MATSUDA, M. SUEMITSU, J. YAMASHITA, HEAT TRANSFER AND FLOW CHARACTERISTICS OF AN ARRAY OF IMPINGING CIRCULAR JETS, 16th International Symposium on Flow Visualization, 2014
- J. YAMASHITA, S. MATSUDA, Y. TANAHARA, S. KATO, VISUALIZATION OF THE FLOW AND THE TEMPERATURE OF MOLTEN METAL IN ELECTROMAGNETIC CONTROLLED MOLTEN POOL WELDING PROCESS, 16th International Symposium on Flow Visualization, 2014
- 比嘉正樹, 瀬名波出, 宮藤義孝, 松田昇一, 加藤純郎, 檜和田宗彦, ミスト噴霧と円柱挿入による後向きテップ下流の複合伝熱促進, 第 51 回日本伝熱シンポジウム講演論文集, 2014
- 渡邊輝洋, 加藤純郎, 松田昇一, 軽量 CFRP アブレータ用軸対称アブレーション解析コードの開発, 第 58 回宇宙科学技術連合講演会, 2014
- 島田直幸, 加藤純郎, 松田昇一, 奥山圭一, 軽量 CFRP アブレータのコーキング現象を考慮した一次元アブレーション解析, 第 58 回 宇宙科学技術連合講演会, 2014
- S. MATSUDA, Y. TANAHARA, M. Tanaka, S. KATO, Study of the flow and temperature distribution of molten metal in Electromagnetic Controlled Molten Pool Welding Process, The 4th East Asia Symposium on Technology of Welding & Joining, 2014

- 菅野真榛, 中園邦彦, 金城寛, GA による NC の構造決定法を適用した自動車の操舵制御, 第 33 回計測自動制御学会九州支部学術講演会, 2014
- Z. Wang, N. -A. Noda, T. Miyazaki, T. Uchikoba, G. Wang, Y. Sano, Analysis on Intensity of Singular Stress for Bonded Pipe and Cylinder in Comparison with Bonded Plate, Proceedings of ACMFMS 2014, Mechanics of Functional Materials and Structures, 2014
- Z. Wang, N. -A. Noda, T. Miyazaki, K. Iida, Y. Sano, Small Edge Interface Crack Problems for Bonded Cylinder in Comparison with Bonded Plate, Proceedings of ACMFMS 2014, Mechanics of Functional Materials and Structures, 2014
- 宮崎達二郎, 野田尚昭, 王澤鋒, 佐野義一, 接合丸棒の特異応力場の強さの解析について, 材料力学カンファレンス 2014, 2014
- 末吉敏恭, 伊藤耿一, 植村 元, 森 尚達, 異方性主軸の回転が薄板材の破断限界へ及ぼす影響, 平成 27 年度塑性加工春季講演会講演論文集, 2015
- 岡崎将司, 長坂龍一郎, 宮田龍太, アメリカ市場における映画公開初週末の興行収入予測, 第 15 回冬のワークショップ, 2015
- 具志堅尚敬, 宮田龍太, 情報理論を用いた大相撲取組の分析, 第 15 回冬のワークショップ, 2015
- 岡崎将司, 長坂龍一郎, 宮田龍太, ジャンル別公開初週末における映画の興行収入予測, 九州学生会, 2015
- 下之門慶太郎, 外間章悟, 若井謙介, 主燃料ポート噴射 HCCI 燃焼に与える副燃料直接噴射による影響, 日本機械学会九州学生会第 46 回卒業研究発表講演会(No.158-2)論文集, 2015
- Chobin Makabe, Relationship between Fatigue Limit and Crack Initiation Mechanism, The 16th International Conference on Manufacturing, Machine Design and Tribology, 2015
- Kiyotaka Ishikawa, Masaki Fujikawa, Chobin Makabe, Mechanical characterization of gels and formulation of nonlinear visco-hyperelastic material model, The 16th International Conference on Manufacturing, Machine Design and Tribology, 2015
- 真壁朝敏, 名嘉海人, 宮崎達二郎, 疲労き裂進展停止に関する簡便手法の検討, 安全安心な社会を築く先新材料・非破壊検査技術, 2015
- 真壁朝敏, Md. S. Ferdous, A. Murdani, 炭素鋼 S35C の塩水間欠噴霧による腐食疲労過程の平滑材とスリット材での違い, 第 64 期通常総会・学術講演会, 2015
- 真壁朝敏, A. S. Jafari, 共析鋼の疲労限度とき裂進展に及ぼす結晶組織の影響, 第 64 期通常総会・学術講演会, 2015

【学外活動】

- 水口尚, 簡易構造の多重効用・蒸発濃縮器の開発, 公益財団法人天野工業技術研究所, 2014

平成26年度研究業績 (2014年4月～2015年3月)

環境建設工学科

【論文】

- 富山潤, コンクリート上部工に付着する飛来塩分に関する数値解析的検討, コンクリート工学年次論文集, Vol. 36, No. 1, pp.874-879, 2014
- 風間洋, 富山潤, 下地健, 小籾俊介, 沖縄県内陸部における FAC 利用に関する中性化耐久性検討, コンクリート工学年次論文集, Vol. 36, No. 1, pp.850-855, 2014
- 戸田勝哉, 楊威, 富山潤, 下村匠, 分光分析を用いたコンクリート構造物の塩分分布測定法の開発, 非破壊検査, 2014
- 上原義己, 山田義智, 崎原康平, 赤嶺糸織, 高温環境下におけるフレッシュコンクリートのスランプロス解析, コンクリート工学年次論文集, Vol. 36, No. 1, pp.1396-1401, 2014
- 崎原康平, 比嘉孝之, 山田義智, 湯浅昇, 沖縄本島における飛来塩分飛散状況の推定に関する基礎的検討, コンクリート工学年次論文集, Vol. 36, No. 1, pp.970-975, 2014
- 中村暢, 濱幸雄, 山田義智, 湯浅昇, モルタルの細孔構造および耐凍害性の屋外暴露による経年変化, コンクリート工学年次論文集, Vol. 35, No. 1, pp.1060-1065, 2014
- Nayatat TONMITR, Nobuyuki OGURA, SELF-CUSTOMIZATION FOR INCOME GENERATION SPACE IN THE BAAN MANKONG PROGRAM-The case of Tawanmai community housing in Khon Kaen province, Thailand, 日本建築学会計画系論文報告集, Vol. 79, No. 703, pp.1871-1879, 2014
- 前田慎, 小倉暢之, 那覇市公会堂設計競技の企画運営に関する研究～戦後沖縄の地域主義的建築活動に関する研究 その1, 日本建築学会計画系論文報告集, Vol. 79, No. 703, pp.2031-2038, 2014
- Nayatat Tonmitr, Nobuyuki Ogura, Toru Irie, Haruno Kinjo, Integrating Income Generation Space into Sustainable Low-income Housing Planning Outlook in Thailand, Proceedings of the 10th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia (ISAIA), pp.166-169, 2014
- Nayatat Tonmitr, Nobuyuki Ogura, Toru Irie, Haruno Kinjo, Low-income Lifestyle and Demand on Technologies and Facilities in Income Generation Space Utilizing Family in Khon Kaen Province, Thailand”, Proceedings of the 10th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia (ISAIA), pp.175-179, 2014
- Makoto Maeda, Nobuyuki Ogura, Haruno Kinjo, Modern Architecture in Okinawa and its Regional Expression in the Context of Culture and Climate, Proceedings of the 10th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia (ISAIA), pp.787-791, 2014
- 神谷大介, 池田晴香, 赤松良久, 住民主体の河川環境保全・再生活動活性化のための地域分析と可能性評価, 土木学会論文集 B1(水工学), Vol. 70, No. 2, pp.22-31, 2014
- 赤松良久, 上鶴翔悟, 高村紀彰, 神谷大介, 清木隆博, 竹村紫苑, 乾隆帝, 鎌田磨人, 中国地方における流域の流程区分図の作成とその活用法の検討, 河川技術論文集, Vol. 20, 2014
- 神谷大介, 赤松良久, 渡邊学歩, 大槻順朗, 二瓶泰雄, 上鶴翔悟, 小規模集落における豪雨災害に対する課題と支援方策～萩市須佐地区を対象として～, 土木学会論文集 G(環境), Vol. 70, No. 5, pp.I.87-I.94, 2014

- 宮良工, 神谷大介, 赤松良久, 乾隆帝, 上鶴翔悟, 地方中小河川における自然再生計画のための河川の分類と評価-沖縄島を対象として-, 土木学会論文集 G(環境), Vol. 70, No. 5, pp.1285-1292, 2014
- Muhammad Abdur Rouf and Eizo Nakaza, Seasonal Behavior of the Internal Tide and Associated Water Temperature in Genka Bay, Okinawa, Japan, Journal of Coastal Research, Vol. 30, Issue 1, pp.102-110, 2014
- 仲座栄三, 稲垣賢人, 駒場悠輔, 入部綱清, 海岸林に残される津波痕跡課程と減災効果に関する研究, 土木学会論文集 B2(海岸工学), Vol.70, No.2, pp.1271-275, 2014
- 稲垣賢人, 仲座栄三, 海岸丘と海岸林による津波防災対策の実験的検討, 土木学会論文集 B2(海岸工学), Vol.70, No.2, pp.1296-300, 2014
- 下里哲弘, 本田博幸, 有住康則, 淵脇秀晃, 約 30 年曝された無塗装仕様耐候性鋼橋のさび評価と腐食減耗特性, Vol.21, No. 81, pp.79-87, 2014
- 下里哲弘, 玉城喜章, 有住康則, 矢吹哲哉, 小野秀一, 三木千壽, 実腐食減厚分布を有する鋼プレートガーダー腹板のせん断強度特性に関する実験的研究, 土木学会論文集 A1(構造・地震工学), Vol. 70, No. 3, pp.359-376, 2014
- Aydan, Ö., Ulusay, R., Kumsar, H., Seismic, ground motion and geotechnical characteristics of the 2011 Van-Ercis and Van-Edremit earthquakes of Turkey, and assessment of geotechnical damages, Bulletin of Engineering geology and Environment, Vol.73, No.2, pp.643-666, 2014
- Aydan, Ö., Sato A., Yagi.M, The Inference of Geo-Mechanical Properties of Soft Rocks and their Degradation from Needle Penetration Tests, Rock Mechanics and Rock Engineering, Vol.47, pp.1867-1890, 2014
- Aydan, Ö., Kumsar, H., Assessment of the earthquake potential of the west Aegean region of Turkey based on seismicity, tectonics, crustal deformation and geo-archaeological evidence and its geotechnical aspects Assessments of earthquake potential of west Aegean region of Turkey, Bull Eng Geol Environ, DOI 10.1007/s10064-014-0684-7
- Aydan, Ö., Ulusay, R., Tokashiki, N., A new rock mass quality rating system: Rock Mass Quality Rating (RMQR) and its application to the estimation of geomechanical characteristics of rock masses, Rock Mechanics and Rock Engineering, Vol.47, 1255-1276, 2014
- Aydan, Ö., Methods for In-situ Stress Measurements and its Applications to Turkey, Yer Mühendisliği, Vol.1, No.2, 46-51, 2014
- Takeshi Tokashiki, Research on the effect of the air craft noise pollution on the noise environment in the classrooms of Okinawa due to the U.S. military Bases, Proceedings of the 11th International Congress on Noise as a Public Health Problem (ICBEN) 2014, Nara, JAPAN, pp.1-8, 2014
- Yiling Li, Jun-ichiro Giorgos Tsutsumi, Ryo Nakamatsu, Field Tests of 4 types of Cool Roof System to Reduce Cooling Load, Advanced Materials Research, Trans Tech Publications, Vols. 1008-1009, pp.1336-1342, 2014
- 中山貴喜, 神谷大介, 過疎地域における近所間の認知関係を考慮した要援護者の避難支援方策の検討-沖縄県渡名喜村を対象として-, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol. 71, No. 1, pp.1-12, 2015

- 乾隆帝, 赤松良久, 上鶴翔梧, 平木亮祐, 竹村紫苑, 神谷大介, 鎌田磨人, 中国地方における瀬戸内海流入一級水系の流程区分に基づく流域特性と純淡水魚類の分布パターンとの関連性, 土木学会論文集 B1(水工学), Vol. 71, No. 4, pp.L1123-L1128, 2015
- 宮良工, 赤松良久, 湯野剛志, 宮本真琴, 神谷大介, 島谷幸宏, 沖縄県二級河川奥川における自然再生とその評価, 土木学会論文集 B1(水工学), Vol. 71, No. 4, pp.L1135-L1140, 2015
- 神谷大介, 中山貴喜, 上野靖晃, 特別支援学校の津波避難に関する課題と支援方策の検討プロセス～沖縄県での取り組みを事例として～, 土木学会論文集 H(教育), Vol. 71, No. 1, pp.9-17, 2015
- Rusila SAVAU, 仲座栄三, 稲垣賢人, 海岸護岸と海岸土手との組合せによる津波対策効果に関する研究, 土木学会論文集 B2(海岸工学), Vol.71, No.1, pp.12-22, 2015
- 田井政行, 下里哲弘, 玉城善章, 有住康則, 矢吹哲哉, 腐食により崩落至った鋼プレートガーダ橋の崩落メカニズムと桁端部損傷回復評価に関する解析的検討, 構造工学論文集, No. 61A, pp.725-735, 2015
- 田井政行, 下里哲弘, 玉城喜章, 有住康則, 矢吹哲哉, 腐食により崩落に至った鋼プレートガーダ橋の崩落メカニズムと桁端部の損傷回復評価に関する解析的検討, 構造工学論文集, Vol.61A, pp.416-428, 2015
- 清川昇悟, 井口進, 木村雅昭, 下里哲弘, コールドスプレー技術で生成する金属皮膜を適用した高力ボルトの防食性能と機械的性質, 鋼構造論文集, Vol. 第22巻, No. 第85号, pp.133-141, 2015
- Aydan, Ö., A critical testing of the applicability of some empirical relations used in the science and engineering of earthquakes through the 2011 Great East Japan Earthquake, Bull Eng Geol Environ, DOI 10.1007/s10064-014-0699-0, 2015
- Aydan, Ö., Crustal stress changes and characteristics of damage to geo-engineering structures induced by the Great East Japan Earthquake of 2011, Bull Eng Geol Environ, DOI 10.1007/s10064-014-0668-7, 2015
- Aydan, Ö., Ulusay, R., Tokashiki, N., Rock Mass Quality Rating (RMQR) System and Its Application to the Estimation of Geomechanical Characteristics of Rock Masses, Engineering Geology for Society and Territory, Volume 5, 769-773, 2015
- Avsar, E., Ulusay, R., Aydan, Ö., and Mutluturk, M., On the difficulties of geotechnical? sampling and practical estimates of the strength of a weakly bonded volcanic soil, Bull Eng Geol Environ, DOI 10.1007/s10064-014-0710-9, 2015

【著書】

- 仲座栄三, 沖縄から島嶼地域の海岸防災を考える, 九州大学出版会, 2014
- 仲座栄三, 古文書・津波堆積物が示す世界最大規模の津波の実態と対応策, 土木学会, 2014
- 堤純一郎, 島嶼地域の新たな展望(第11章 島嶼地域における環境と社会インフラ), 九州大学出版会, 2014

【口頭発表】

- 中田幸造, 森下陽一, PC 鋼棒で横補強した RC 柱のせん断破壊実験, 日本建築学会学術講演梗概集, 2014
- Kozo NAKADA, Yoichi MORISHITA, Shinji ARAKAKI, Homayoon KARWAND, Mohammad Zahid NOORI, Experimental Investigation of Emergency Retrofitting of a Shear-damaged RC Column by Lashing Belt, 7th international conference on FRP composites in civil engineering, 2014
- Shun SHIMIZU, Kohei SAKIHARA, Yoshiki UEHARA, Yoshitomo YAMADA, DEVELOPMENT OF HAZARD MAP SYSTEM BY SALT DAMAGE THAT COME FROM OUTSIDE IN REINFORCED CONCRETE STRUCTURES, 2014
- 清水峻, 山田義智, 崎原康平, 伊波咲子, セメント粒子の形状および粒度分布とペースト粘度に関する検討, 第 68 回セメント技術大会講演要旨, 2014
- 上原義己, 山田義智, 崎原康平, 浦野真次, MPS 法を用いたフレッシュコンクリートの間隙通過性に関する検討, 第 68 回セメント技術大会講演要旨, 2014
- 崎原康平, 山田義智, 上原義己, 湯浅昇, 鉄筋コンクリート構造物の外来塩害ハザード Map システムの開発, 第 68 回セメント技術大会講演要旨, 2014
- 崎原康平, 山田義智, 上原義己, 清水峻, 赤嶺糸織, 高温環境下におけるフレッシュコンクリートのスランプロスに関する一考察, 学術講演概要集(近畿), 2014
- 清水峻, 崎原康平, 山田義智, 上原義己, 湯浅昇, 鉄筋コンクリート構造物における塩害ハザード Map 作成システムの構築, 学術講演概要集(近畿), 2014
- 平山茉莉子, 小山智幸, 一色実, 湯浅昇, 山田義智, 長縄肇志, 伊藤是清, 高村正彦, 火山性ガスに曝されるコンクリート構造物の塩ビサイディングによる保護効果に関する長期曝露実験(その5 曝露3年目の結果), 学術講演概要集(近畿), 2014
- 倉本真, 樋渡, 久保田, 阿部, Castro, 倉本洋, 既存 RC 部材の外付けせん断補強工法に関する研究(その 8~9), 日本建築学会学術講演梗概集(近畿), 2014
- 金久保, 余, 八十島, カストロ, 2011 年東北地方太平洋沖地震における茨城県内の公立学校 RC 造建物の被害(その 1~2), 日本建築学会学術講演梗概集(近畿), 2014
- Stanikzai, Castro, Seismic Vulnerability of Traditional Houses in Afghanistan, 日本建築学会学術講演梗概集(近畿), 2014
- Nayatat TONMITR, Nobuyuki OGURA, DEMAND FOR SUSTAINABLE URBAN LOW-INCOME HOUSING DEVELOPMENT Comparative Study on the Governmental Urban Low-income Housing Programme in Khon Kaen Province, Thailand, 日本建築学会学術講演梗概集, 2014
- 中山貴喜, 神谷大介, 長曾我部まどか, 榊原弘之, 山中亮, 宮国敏秋, 地区防災計画策定のための住民ワークショップの取り組みとその考察-国頭村与那区を対象として-, 土木計画学研究・講演集, 2014
- 山中亮, 宮国敏秋, 神谷大介, 中山貴喜, 榊原弘之, 長曾我部まどか, 地域防災計画の見直しにおける事前危険度評価の取り組み, 土木計画学研究・講演集, 2014
- 中山貴喜, 神谷大介, 地区防災計画策定支援のための WS 活用の効果に関する研究, 平成 26 年度沖縄ブロック国土交通研究会, 2014

- 中山貴喜, 神谷大介, 山中亮, 長曾我部まどか, 榊原弘之, 住民参加型地区防災計画策定の支援に関する取り組みとその考察-沖縄県国頭村与那を対象として-, 第 69 回年次学術講演会, 2014
- 中山貴喜, 神谷大介, 山中亮, 長曾我部まどか, 榊原弘之, 宮国敏秋, 防災ワークショップの効果に関する一考察-国頭村与那区を対象として-, 土木学会西部支部沖縄会第 4 回技術研究会発表会, 2014
- 仲座栄三, 八重山明和と津波と沖縄の巨大地震津波の想定について, 南九州・南西諸島海域における巨大津波災害の想定, 2014
- Hitoshi Matsubara and Taka-Aki Edo, Numerical Simulation of Lichen's Propagation and Weathering Patterns on Rock Surfaces, Proceedings of Computational Engineering and Science for Safety and Environmental Problems (COMPSAFE 2014), 2014
- 松寄史明, 広瀬孝三郎, 松原仁, 島尻層群泥岩の微生物風化に関する研究: 一軸圧縮強さと風化期間の関連性, 土木学会第 69 回年次学術講演概要集, 2014
- 広瀬孝三郎, 松原仁, 粘性土における Mud crack 生成パターンに関する実験的検討, 土木学会第 69 回年次学術講演概要集, 2014
- 坂本征矢, 瀧口真矢, 松寄史明, 原久夫, 松原仁, 島尻層群泥岩含有率変化による標準砂の強度定数推移, 第 27 回沖縄地盤工学研究発表会講演概要集, 2014
- 松寄史明, 広瀬孝三郎, 原久夫, 松原仁, 島尻層群泥岩の微生物風化に関する研究: 一軸圧縮強さと風化期間の関連性微生物風化に関する研究, 第 27 回沖縄地盤工学研究発表会講演概要集, 2014
- 広瀬孝三郎, 松原仁, 原久夫, マッドペーストを用いた Mud crack 生成パターンに関する実験的検討, 第 27 回沖縄地盤工学研究発表会講演概要集, 2014
- H. Honda, T. Shimozato, TY. Aruzumi, T. Yabuki and S. Ono, Analysis of the Degree of Deterioration in Reinforced Concrete Bridge Girders Damaged by Chloride Induced Deterioration, and Application of Various Non-Destructive Inspections, IABMAS, The 7th International Conference on Bridge Maintenance, Safety and Management, 2014
- 塚原雄介, 下里哲弘, 有住康則, 田井政行, 沖縄県モノレール課, Structural Hot Spot Stress 法を用いた跨座式モノレール鋼軌道桁の疲労強度評価, 土木学会第 69 回学術講演会, 2014
- 佐々木栄一, 峰沢ジョージヴェルペ, 下里哲弘, 梅川雄太郎, 西田秀也, 920MHzワイアレスシステムによる沖縄離島橋梁の遠隔モニタリング, 土木学会第 69 回学術講演会, 2014
- 利光崇明, 下里哲弘, 有住康則, 玉城喜章, 島袋秀也, 腐食鋼 I 桁端部におけるせん断強度回復技術に関する実験的研究, 土木学会第 69 回学術講演会, 2014
- 井口進, 清川昇悟, 木村雅昭, 下里哲弘, 特殊金属被膜生成技術のボルト継手部塗装への適用, 土木学会第 69 回学術講演会, 2014
- 田井政行, 小間貴紀, 下里哲弘, 有住康則, 矢吹哲也, 腐食劣化した高力ボルトの減肉量の基づく残存軸力評価法の解析的検討, 土木学会第 69 回学術講演会, 2014
- 下里哲弘, 有住康則, 塚原雄介, 中野裕二郎, 海洋環境化で腐食した鋼管構造物における過流計測法の適用性に関する研究, 土木学会第 69 回学術講演会, 2014
- 本田博幸, 下里哲弘, 有住康則, 長嶺由智, 塩害損傷を模擬した鉄筋コンクリート梁の疲労載荷試験, 土木学会第 69 回学術講演会, 2014

- 林田卓也, 下里哲弘, 有住康則, 山下修平, 高力ボルト摩擦接合継手のすべり耐力に関する研究～実橋から切出した試験片によるすべり試験(その1)～, 土木学会西部支部沖縄会第 4 回技術研究発表会, 2014
- 山下修平, 下里哲弘, 有住康則, 林田卓也, 高力ボルト摩擦接合継手のすべり耐力に関する研究～実橋から切出した試験片によるすべり試験(その2)～, 土木学会西部支部沖縄会第 4 回技術研究発表会, 2014
- 竹淵敏郎, 長坂康史, 田井政行, 下里哲弘, 内里清一郎, 与那覇忍, 沖縄地方において 30 年経過した耐候性鋼橋のスマートレトロフィット(SRF), 土木学会西部支部沖縄会第 4 回技術研究発表会, 2014
- 長坂康史, 下里哲弘, 竹淵敏郎, 田井政行, 内里清一郎, 与那覇忍, 約 30 年間沖縄の環境下で暴露された対候性橋梁における荷重戴荷実験, 土木学会西部支部沖縄会第 4 回技術研究発表会, 2014
- 田井政行, 下里哲弘, 有住康則, 実橋における高力ボルトの腐食減肉計測による残存軸力の推定, 土木学会西部支部沖縄会第 4 回技術研究発表会, 2014
- 玉城喜章, 下里哲弘, 有住康則, 実腐食減厚分布を有する鋼プレートガーダー腹板のせん断強度特性に関する研究, 土木学会西部支部沖縄会第 4 回技術研究発表会, 2014
- 塚原雄介, 下里哲弘, 有住康則, 腐食減肉した鋼管の残存圧縮耐力に関する解析的研究, 土木学会西部支部沖縄会第 4 回技術研究発表会, 2014
- 砂川章次, 金田一男, 久米仁司, 太田清志, 下里哲弘, 玉城喜章, 淵脇秀晃, 長嶺由智, 塩害劣化 RCT 桁の主桁耐荷力に対する壁高欄の有効性に関する実験的研究, 土木学会西部支部沖縄会第 4 回技術研究発表会, 2014
- 辻翔平, 下里哲弘, 有住康則, 本田博幸, 塩害により損傷を受けた鉄筋コンクリート桁の戴荷試験(その1)～, 土木学会西部支部沖縄会第 4 回技術研究発表会, 2014
- 本田博幸, 下里哲弘, 有住康則, 辻翔平, 塩害により損傷を受けた鉄筋コンクリート桁の戴荷試験(その2)～, 土木学会西部支部沖縄会第 4 回技術研究発表会, 2014
- 松村恭寛, 下里哲弘, 有住康則, 道路照明中の台風応答計測, 土木学会西部支部沖縄会第 4 回技術研究発表会, 2014
- 勝山真規, 下里哲弘, 鷲尾朝昭, 今岡知武, 菅沼久忠, 亜熱帯環境下における火力発電所揚炭栈橋鋼管構造の診断モニタリング手法の開発研究, 土木学会西部支部沖縄会第 4 回技術研究発表会, 2014
- 園田政和, 下里哲弘, 有住康則, 長坂康史, レーザー計測による実腐食鋼板の腐食形状と腐食深さに関する考察, 土木学会西部支部沖縄会第 4 回技術研究発表会, 2014
- 水流宗孝, 下里哲弘, 有住康則, 井口進, 清川昇吾, 木村雅昭, 腐食面に対する SmartZIC 工法の防食性に関する実験的研究, 土木学会西部支部沖縄会第 4 回技術研究発表会, 2014
- 井口進, 春日井俊博, 清川昇吾, 中東剛彦, 木村雅昭, 橋都端城, 下里哲弘, Smart ZIC 工法による鋼製高力ボルトの継手部の防食性向上(その1:防食性能の検討), 土木学会西部支部沖縄会第 4 回技術研究発表会, 2014
- 清川昇吾, 中東剛彦, 井口進, 春日井俊博, 木村雅昭, 橋都端城, 下里哲弘, Smart ZIC 工法による鋼製高力ボルトの継手部の防食性向上(その2:継手性能の検討), 土木学会西部支部沖縄会第 4 回技術研究発表会, 2014

- 宇座徳人, 下里哲弘, 有住康則, 淵脇秀晃, 補修塗装された鋼橋の腐食状態, 土木学会西部支部沖繩会第4回技術研究発表会, 2014
- 淵脇秀晃, 下里哲弘, 有住康則, 本田博幸, 約30年暴露された無塗装仕様耐候性鋼橋の腐食状況, 土木学会西部支部沖繩会第4回技術研究発表会, 2014
- Aydan, Ö., Future advancement of rock mechanics and rock engineering(RMRE), ROCKMEC'2014-XIth Regional Rock Mechanics Symposium, 2014
- Aydan, Ö., Manav, H. Yaoita, T., Yagi, M., Multi-parameter Thermo-dynamic Response of Minerals and Rocks during Deformation and Fracturing, 8th Asian Rock Mechanics Symposium, 2014
- Aydan, Ö., Ulusay, R., Rock Mass Quality Rating (RMQR) System: Its Application to Estimation of Geomechanical Characteristics of Rock Masses and to Rock Support Selection for Underground Caverns and Tunnels, 8th Asian Rock Mechanics Symposium, 2014
- Aydan, Ö., Geniş M., A numerical study on the response and stability of abandoned lignite mines in relation to the excavation of a large underground opening below, 14th Computer Methods and Recent Advances in Geomechanics, 2014
- 宮野伸介, 大城武, 富山潤, 福地啓太, 塗装 PC 鋼より線仕様のプレテンション PC 桁の付着性能に関する研究, 土木学会第69回年次学術講演会, V-13, pp.25-26, 2014
- 富山潤, 大城武, 大貫隆弘, 塩害環境下におけるエポキシ樹脂塗装鉄筋を用いた鉄筋コンクリートの防食に関する研究, 土木学会第69回年次学術講演会, V-349, pp.877-878, 2014
- 松浦葵, 富山潤, 迫田泰治, ASR劣化したプレテンション PC 桁橋の劣化調査とモニタリング調査, 土木学会第69回年次学術講演会, V-484, pp.967-968, 2014
- 新城達也, 藍檀オメル, 渡嘉敷直彦, 富山潤, ロックアンカー・ロックボルトの非破壊試験法の開発, 土木学会西部支部沖繩会第4回技術研究発表会, pp.60-61, 2014
- 土屋憲一, 藍檀オメル, 渡嘉敷直彦, 富山潤, トンネル掘削における発破振動計測の試み, 土木学会西部支部沖繩会第5回技術研究発表会, pp.62-63, 2014
- 福長友弥, 藍檀オメル, 渡嘉敷直彦, 富山潤, 歴史的石積み構造物に対する多重パラメータ動態計測システムとの中城城址への適用, 土木学会西部支部沖繩会第6回技術研究発表会, pp.64-65, 2014
- 亀川裕也, 琉球大学 藍檀オメル, 富山潤, 山口順圭, 屋我晃, 神谷和志, 上里尚也, コンクリートプリズム(CPT)を用いたASR加速試験の遅延膨張性ASRへの適応性に関する研究, 土木学会西部支部沖繩会第7回技術研究発表会, pp.128-129, 2014
- 外間賢伍, 松浦葵, 藍檀オメル, 富山潤, コンクリート橋上部工の付着塩分量に関する調査および塩害環境評価法に関する基礎研究, 土木学会西部支部沖繩会第8回技術研究発表会, pp.130-131, 2014
- 松浦葵, 藍檀オメル, 富山潤, 迫田泰治, 浅井光輝, ASR劣化したプレテンション PC 桁橋の調査および損傷理論を導入したボクセル FEM を用いた膨張予測の基礎検討, 土木学会西部支部沖繩会第9回技術研究発表会, pp.132-133, 2014
- 平田淳貴, 吉次優祐, 松浦葵, 藍檀オメル, 富山潤, コンクリート梁の振動特性に関する基礎研究, 土木学会西部支部沖繩会第10回技術研究発表会, pp.170-171, 2014

- 吉次優祐, 松浦葵, 平田淳貴, 松川博宣, 富山潤, 藍檀オメル, 渡嘉敷直彦, 塩害劣化したコンクリート橋梁の震動特性評価に関する基礎研究, 土木学会西部支部沖縄会第 11 回 技術研究発表会, pp.172-173, 2014
- 松川博宣, 藍檀オメル, 渡嘉敷直彦, 富山潤, モノレール駅の振動特性に関する基礎研究, 土木学会西部支部沖縄会第 12 回 技術研究発表会, pp.174-175, 2014
- Jun Tomiyama, Numerical Study on Adhered Airborne Salt Content to The Superstructure of Concrete Bridge, 8th International Symposium between Japan, Korea and China- Performance Improvement of Concrete for Long life span Structure 2014, 2014
- Jun-ichiro Giorgos Tsutsumi, Policies and Strategies for Aiming for Independence of Energy Supply in Isolated Islands like the Ryukyus, Expert Conference on Development of Island's Sustainable Societies, OIST, 2014
- Jun-ichiro Giorgos Tsutsumi, Material and Thermal Recycling Systems in Okinawa, 2014 EWC/EWCA International Conference in Okinawa, 2014
- Jun-ichiro Giorgos Tsutsumi, Recent Energy Strategies in Okinawa, UR & UCPP Joint Symposium 2015, 2015
- 清水峻, 崎原康平, 山田義智, 飛来塩分輸送推定式による軍艦島の飛来塩分量の検討, 九州支部研究報告研究報告, 2015
- 崎原康平, 長縄肇志, 清水峻, 山田義智, 湯浅昇, 塩ビサイディングの飛来塩分遮煙性能に関する研究(暴露 5 年目の結果), 九州支部研究報告研究報告, 2015
- 上原義己, 山田義智, 崎原康平, 浦野真次, MPS 法によるフレッシュコンクリートの材料分離および振動伝搬解析, 九州支部研究報告研究報告, 2015
- Nayatat TONMITR, Nobuyuki OGURA, SELF-ORGANIZED COMMUNITY MECHANISM TO SUSTAIN THE GOVERNMENTAL LOW-INCOME HOUSING PROJECT - A study on community housing system, house planning and design outlook of Tawanmai community housing in Khon Kaen Province, Thailand -, 日本建築学会九州支部研究報告, 2015
- 親川貴矢, 小倉暢之, 中学校特別支援学級におけるクールダウンのための空間構成に関する研究, 日本建築学会九州支部研究報告, 2015
- 峰翔太, 神谷大介, 赤松良久, 大槻順朗, 水害の進展過程を考慮した避難支援に関する基礎的考察, 平成 26 年度土木学会西部支部研究発表会, 2015
- 藤野大地, 神谷大介, 赤松良久, 中国地方一級河川における河川環境保全・再生活動活性化に関する要因分析とポテンシャル評価, 平成 26 年度土木学会西部支部研究発表会, 2015
- 田口敦己, 神谷大介, 上野靖晃, 特別支援学校における津波避難訓練の効果と支援方法に関する一考察, 平成 26 年度土木学会西部支部研究発表会, 2015
- 辻本真希, 神谷大介, 赤松良久, 宮良工, 自然再生事業のための河川類型化に関する基礎的考察, 平成 26 年度土木学会西部支部研究発表会, 2015
- 中山貴喜, 神谷大介, 山中亮, 長曾我部まどか, 榊原弘之, 宮国敏秋, 地区の防災力向上を目的としたワークショップに関する一考察, 平成 26 年度土木学会西部支部研究発表会, 2015
- 広瀬孝三郎, 松原仁, 原久夫, Mudcrack の発生メカニズムと幾何パターンに関する実験的検討, 平成 26 年度土木学会西部支部研究発表会, 2015

- 玉那覇圭一, 広瀬孝三郎, 原久夫, 松原仁, 粘性土壌の乾燥収縮亀裂進展シミュレーション, 平成 26 年度土木学会西部支部研究発表会, 2015
- 長坂康史, 下里哲弘, 竹渕敏郎, 田井政行, 内里清一郎, 与那覇忍, 桁端部に腐食劣化を伴う耐候性鋼橋梁の機能性確認, 平成 26 年度土木学会西部支部研究発表会, 2015
- 水流宗孝, 下里哲弘, 有住康則, 井口進, 清川昇吾, 木村雅昭, 腐食面に対する SmartZIC 工法と有機ジンク塗装との防食性の比較実験, 平成 26 年度土木学会西部支部研究発表会, 2015
- 宇座徳人, 下里哲弘, 有住康則, 淵脇秀晃, 暴露鋼板の設置環境別の鋼材腐食特性に関する研究, 平成 26 年度土木学会西部支部研究発表会, 2015
- 久米仁司, 下里哲弘, 淵脇秀晃, 砂川章次, 塩害劣化した RC 製高欄付き RCT 桁の載荷実験と残存耐力の試算, 平成 26 年度土木学会西部支部研究発表会, 2015
- 田井政行, 長坂康史, 竹渕敏郎, 下里哲弘, 有住康則, 実橋における腐食高力ボルトの残存軸力計測, 平成 26 年度土木学会西部支部研究発表会, 2015
- 山下修平, 下里哲弘, 有住康則, 田井政行, 腐食鋼橋の高力ボルト摩擦接合継手部における摩擦接合面の発錆特性, 平成 26 年度土木学会西部支部研究発表会, 2015
- 林田卓也, 下里哲弘, 有住康則, 腐食した高力ボルト摩擦接合継手の摩擦面状態とすべり耐力の関係, 平成 26 年度土木学会西部支部研究発表会, 2015
- 塚原雄介, 下里哲弘, 有住康則, 腐食減肉した鋼管の残存水平耐力に関する解析的研究, 平成 26 年度土木学会西部支部研究発表会, 2015
- 松村恭寛, 下里哲弘, 有住康則, 台風下における道路照明柱の動ひずみ計測と応答特性, 平成 26 年度土木学会西部支部研究発表会, 2015
- 玉城喜章, 下里哲弘, 有住康則, 実腐食減厚分布を有する鋼橋プレートガーダーのせん断耐荷力特性に関する解析的検討, 平成 26 年度土木学会西部支部研究発表会, 2015
- Aydan, Ö., M. Imazu, M. Soya, H. Ideura, The possibility of Infrared Camera Thermography for assessing the real-time stability of underground excavations, ITA WTC 2015 Congress, 2015
- 藍檀オメル, 坂本昭夫, 杉浦乾郎, 山田紀利, 田野久貴, 御嵩町亜炭廃坑内における劣化および陥没現象に対する 10 年以上の観察と多重パラメータ計測結果について, 第43回岩盤力学シンポジウム, 2015
- 藍檀オメル, 渡嘉敷直彦, 渡久地真, 高良倉行, 歴史的石積み構造物に対する多重パラメータ動態計測システムとその中城城址への適用, 第43回岩盤力学シンポジウム, 2015
- Aydan, Ö. Fuse, T. Ito, T., An experimental study on thermal response of rock discontinuities during cyclic shearing by Infrared (IR) thermography, 43rd Symposium on Rock Mechanics, 2015
- 坂本昭夫, 杉浦乾郎, 山田紀利, 和田幸二郎, 田野久貴, 藍檀オメル, AE モニタリング法を用いた亜炭廃坑空洞充填による充填効果の検証, 第43回岩盤力学シンポジウム, 2015
- 松浦葵, 吉次優祐, 平田淳貴, 富山潤, 藍檀オメル, 渡嘉敷直彦, 塩害劣化した RC 橋の振動特性を利用した健全度評価法に関する基礎研究, 土木学会西部支部研究発表会, V-35, pp.667-668, 2015

【学外活動】

有住康則, FRP スマートカバーの性能評価に関する研究, 2014

藍檀オメル, ISRM Suggested Methods for Determining the Creep Characteristics of Rock, 2014, クリープ試験 ISRM 基準

藍檀オメル, ISRM Suggested Method for the Needle Penetration Test, 2014, 針貫入試験 ISRM 基準

カストロホワンホセ, 沖縄市津波避難ビル基本計画, 沖縄市 総務部 防災課 発行, 2014

堤純一郎, 沖縄県営鉄道開通 100 周年記念シンポジウムモデレータ, 2014, 与那原町

堤純一郎, 沖縄県南部広域連合における公共交通ネットワークシンポジウムモデレータ, 2015, 八重瀬町

仲座栄三, ノーベル物理学者天野浩博士の青色 LED 琉球大学産学官連携推進機構の交流フロアを照らす, 2015, 琉球大学産学官連携推進機構

有住康則, 伊良部大橋(主航路部)の耐風安定性の検証と維持管理計画, 2015, 建設図書

堤純一郎, 第5回沖縄公共建築木材活用研究会開催, 2015, 沖縄総合事務局開発建設部

【受賞】

松原仁, 平成 25 年度日本計算工学会論文奨励賞, 2014, 日本計算工学会

松浦葵, 平成 26 年度土木学会第 69 回年次学術講演会最優秀講演者, 2014, 土木学会

藍檀オメル, 平成 26 年度岩の力学連合会論文賞, 2015, 岩の炉力学連合会

平成26年度研究業績 (2014年4月～2015年3月)

電気電子工学科

【論文】

- T. Noguchi and T. Okada, Effective Laser Crystallizations of Si Films and the Applications on Panel, IEICE Trans. Electron., Vol. E97-C, No. 5, pp.401-405, 2014
- T. Noguchi and T. Okada, Low-resistance phosphorus-doped Si films through blue laser diode annealing, Journal of Information Display, Vol. 15, No. 1, pp.47-51, 2014
- Takayuki Akamine, Mohamad Sofian Abu Talip, Yasunori Osana, Naoyuki Fujita, Hideharu Amano, Reconfigurable Out-of-order System for Fluid Dynamics Computation Using Unstructured Mesh, IEICE Transaction on Information and Systems, Vol. E97-D, No. 5, pp.1225-1234, 2014
- Shou Xu, K.Hidaka, E.Kaneko, A.Kumada, H.Ikeda, Particle Detection in Vacuum Interrupter: Preliminary, IEEE Trans. On Plasma Science, Vol. 42, No. 10, pp.3077-3082, 2014
- Ken-ichi Yamamoto, Shunji Yanase, Effects of compressive stress normal to the surface of non-oriented electrical steel sheets, Int. J. Appl. Elect. Mech., Vol. 44, pp.271-278, 2014
- Zakaria Ziadi, Masato Oshiro, Tomonobu Senjyu, Atsushi Yona, Naomitsu Urasaki, Toshihisa Funabashi, Kim, Chul-Hwan Kim, Optimal Voltage Control Using Inverters Interfaced With PV Systems Considering Forecast Error in a Distribution System, IEEE Transactions on Sustainable Energy, Vol. 5, No. 1, pp.682-690, 2014
- Nguyen To Hieu, Odomari, Shogo Odomari, Tomohiro Yoshida, Tomonobu Senjyu, Atsushi Yona, Vu Huu Thich, Digital Position Control Strategy of Traveling-wave Ultrasonic Motors, Automatika, Vol. 55, No. 3, pp.246-255, 2014
- Akihiro Yoza, Atsushi Yona, Tomonobu Senjyu, Toshihisa Funabashi, Optimal capacity and expansion planning methodology of PV and battery in smart house, Renewable Energy, Vol. 69, pp.25-33, 2014
- Atsushi Yona, Tomonobu Senjyu, Toshihisa Funabashi, Paras Mandal, Kim, Chul-Hwan Kim, Optimizing Re-planning Operation for Smart House Applying Solar Radiation Forecasting, Applied Sciences-Basel, Vol. 4, No. 3, pp.366-379, 2014
- Masaya Miyagi, Yuhei Shiroma, Atsushi Yona, Tomonobu Senjyu, Toshihisa Funabashi, Uninterruptible smart house equipped with the phase synchronization control system, International Journal of Electrical Power & Energy Systems, Vol. 63, pp.302-310, 2014
- Tomoi Shimogasa and Hiroki Higa, Toward a Control of a Mouse Pointer: EEG Analysis for Feature Extraction, International Conference on Intelligent Systems Design and Applications, pp.151-155, 2014
- Takeshi Tamaki and Hiroki Higa, Analysis of Single-Trial Event-Related Potentials, Joint 7th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 15th International Symposium on Advanced Intelligent Systems, pp.1248-1250, 2014
- Abdul Motin Howlader, Naomitsu Urasaki, Alok Pratap, Tomonobu Senjyu, and Ahmed Yousuf Saber, A fuzzy control strategy for power smoothing and grid dynamic response enrichment of a grid-connected wind energy conversion system, Wind Energy, Vol. 17, No. 9, pp.1347-1363, 2014

Abdul Motin Howlader, Naomitsu Urasaki, and Ahmed Yousuf Saber, Control Strategies for Wind-Farm-Based Smart Grid System, IEEE Transactions on Industry Applications, Vol. 50, No. 5, pp.3591-3601, 2014

M. Yamazato, M. Ezaki, A. Higa, Effect of plasma treatment on the formation of schottky contacts on CdTe surface for radiation detector, ISEHD2014, pp.P27, 2014

Alok Pratap, Zakaria Ziadi, Naomitsu Urasaki, and Tomonobu Senjyu, Smoothing of Wind Power Fluctuations for Permanent Magnet Synchronous Generator-Based Wind Energy Conversion System and Fault Ride-through Consideration, Electric Power Components and Systems, Vol.43, No. 3, pp.271-281, 2015

【口頭発表】

Kouya SUGIHARA, Kiyoharu SHIMODA, Kimihiko IMURA, Takuya ASHITOMI, Charith Jayanada KOSWATHTHAGE, Tatsuya OKADA and Takashi NOGUCHI, Advanced Low-Temperature Poly Si TFTs without Impurity Doping using BLDA (Blue Multi-Laser Diode Annealing), 2014 Asia-Pacific Workshop on Fundamentals and Applications of Advanced Semiconductor Devices (Kanazawa, July 1-3, 2014), 2014

Tatsuya Okada, Takayuki Oda, and Takashi Noguchi, Temperature Analysis of Si Films during Blue Multi-Laser Diode Annealing, 2014 Asia-Pacific Workshop on Fundamentals and Applications of Advanced Semiconductor Devices (Kanazawa, July 1-3, 2014), 2014

Mishra Dipikarani, Mao Hatto, Takuya Kuhara, Naoyuki Fujita, Yasunori Osana and Hideharu Amano, FPGA Implementation of Viscous Function in a Package for Computational Fluid Dynamics, 2014 Second International Symposium on Computing and Networking (CANDAR), 2014

井戸口 勇介, 齋藤 将人, 周期的に指向性が変化する ESPAR アンテナの実験による受信特性評価, 電子情報通信学会技術研究報告, 2014

井戸口 勇介, 齋藤 将人, 周期的に指向性が変化するアンテナにおける受信信号スペクトルに関する検討, 平成 26 年度電気・情報関係学会九州支部連合大会(第 67 回連合大会), 2014

井戸口 勇介, 齋藤 将人, 周期的に指向性が変化する ESPAR アンテナの振幅及び位相特性, 電子情報通信学会 2014 年ソサイエティ大会, 2014

Masato Saito, Reducing the Effect of Delayed Path beyond Guard Interval by Compressed Sensing in OFDM Systems, International Symposium on Information Theory and Its Applications, 2014

Yusuke Idoguchi and Masato Saito, Evaluation of Antenna with Periodically Variable Directivity, The 2014 Asia-Pacific Microwave Conference, 2014

Yusuke Idoguchi and Masato Saito, A Study on Received Signal Spectrum of Antenna with Periodically Variable Directivity, 2014 International Symposium on Antennas and Propagation, 2014

S. Hanashiro, S. Miyamoto, Y. Nikadori, E. Kaneko, Investigate about Characteristics in DC Low Current Vacuum Arc Subjected to a Magnetic Field, 電気学会 放電/静止器/開閉保護合同研究会, 2014

Y. Okano, Y. Goto, E. Kaneko, M. Fuchigami, Studies on Air Arc with Polymer Insulator, 電気学会 放電/静止器/開閉保護合同研究会, 2014

- S. Md Zubair, E. Kaneko, Load Flow Study in Kabul 110kV transmissions, 平成26年電気学会電力・エネルギー部門大会, 2014
- Abdul Matin, E. Kaneko, Fault calculation for the present state and future plan of Afghanistan North-East Power System, 平成26年電気学会電力・エネルギー部門大会, 2014
- M. Nazari, E. Kaneko, Minimization of energy losses in power distribution systems of Afghanistan, 平成26年電気学会電力・エネルギー部門大会, 2014
- 後藤有希, 岡野雄太, 金子英治, 林田丈博, 消弧材が気中アーク放電に及ぼす影響の研究, 平成26年電気学会電力・エネルギー部門大会, 2014
- 宮本晴望, 花城駿, 荷川取裕二, 金子英治, 直流真空アークに磁界を印加した際のアークの挙動について, 平成26年電気学会電力・エネルギー部門大会, 2014
- 花城駿, 宮本晴望, 荷川取裕二, 金子英治, 磁界が印加された直流小電流真空アークの特性に関する研究, 平成26年電気学会電力・エネルギー部門大会, 2014
- 玉城哲, 我那覇和奎, 宮本晴望, 大城諒士, 金子英治, 高周波電流遮断後の真空遮断器の絶縁回復特性に関する研究, 平成26年電気学会電力・エネルギー部門大会, 2014
- Y. Okano, Y. Goto, E. Kaneko, M. Fuchikami, Quenching performance of air arc discharge with polymer insulator, International Conference on Gas Discharges and their Applications, 2014
- Shou Xu, K. Hidaka, A. Kumada, E. Kaneko, H. Ikeda, Ping Liu, Research the late discharge in VCB using point-to-plane electrodes, Proc. XXVth ISDEIV(International Symposium on Discharges and Electrical Insulation in Vacuum) 2014, 2014
- Shou Xu, E. Kaneko, K. Hidaka, H. Ikeda, Ping Liu, Observation of conducting particles in VCB with temporal and spatial resolution, Proc. XXVth ISDEIV(International Symposium on Discharges and Electrical Insulation in Vacuum) 2014, 2014
- S. Tamaki, K. Ganaha, S. Miyamoto, E. Kaneko, Study on dielectric recovery characteristics after high frequency current interruption in vacuum circuit breaker with short gap, Proc. XXVth ISDEIV(International Symposium on Discharges and Electrical Insulation in Vacuum) 2014, 2014
- S. Miyamoto, S. Hanashiro, Y. Nikadori, E. Kaneko, Studies on influence of magnetic field application to a small direct current vacuum arc, Proc. XXVth ISDEIV(International Symposium on Discharges and Electrical Insulation in Vacuum) 2014, 2014
- Ryoji Oshiro, Eiji Kaneko, A proposal concerned with a new model of a vertically arranged power cable in EMTP, 9th International workshop on high voltage engineering, 2014
- M. Ikema, S. Miyamoto, S. Hanashiro, Y. Nikadori, E. Kaneko, Investigations on vacuum arc cathode spot instability phenomena and related electrode surface condition, 9th International workshop on high voltage engineering, 2014
- S. Hanashiro, S. Seibo, Y. Nikadori, E. Kaneko, Investigation about interrelationship of magnetic field and DC vacuum arc in a small current region, 9th International workshop on high voltage engineering, 2014
- Y. Goto, Y. Okano, E. Kaneko, M. Fuchikami, Investigation concerned with a influence of insulators to air discharge, 9th International workshop on high voltage engineering, 2014

- Ryoji Oshiro, Eiji Kaneko, A simulation study concerned with a surge by the lightning strike nearby an electrical system, 9th International workshop on high voltage engineering, 2014
- 池間未幸, 宮本晴望, 花城駿, 荷川取裕二, 金子英治, アーク放電中の陰極点の光学的観測および理論解析の比較検討, 平成 26 年度電気学会九州支部沖縄支所講演会, 2014
- 荷川取裕二, 宮本晴望, 花城駿, 金子英治, 真空遮断器における大電流遮断後の電極表面に関する研究, 平成 26 年度電気学会九州支部沖縄支所講演会, 2014
- 花城駿, 宮本晴望, 荷川取裕二, 金子英治, 直流小電流真空アークと磁界の関係性に関する研究, 平成 26 年度電気学会九州支部沖縄支所講演会, 2014
- 玉城哲, 大城諒士, 我那覇和奎, 金子英治, 直流小電流が高周波電流遮断後の絶縁回復特性に与える影響, 平成 26 年度電気学会九州支部沖縄支所講演会, 2014
- 西銘克喜, 岡野雄太, 後藤有希, 金子英治, 淵上正樹, 消弧材が気中アークの特性に及ぼす影響の研究, 平成 26 年度電気学会九州支部沖縄支所講演会, 2014
- 大城諒士, 金子英治, EMTP による垂直配置された電力ケーブルの模擬手法に関する提案, 平成 26 年度電気学会九州支部沖縄支所講演会, 2014
- Masooma Nazari, Eiji kaneko, Evaluation of power loss due to unbalanced load in feeder-520 of Breshna-Knot substation in Afghanistan, 平成 26 年度電気学会九州支部沖縄支所講演会, 2014
- Stanikzai Mohd Zubair, Eiji Kaneko, Transient behavior of the system during shunt capacitor switching, 平成 26 年度電気学会九州支部沖縄支所講演会, 2014
- Ibrahimi Abdul Matin, Eiji Kaneko, Fault Current and Transient recovery voltage analysis in Afghanistan expanded North-East power system, 平成 26 年度電気学会九州支部沖縄支所講演会, 2014
- Miyuki Ikema, S. Miyamoto, S. Hanashiro, Y. Nikadori, Eiji Kaneko, Analysis of vacuum arc phenomena in instability region and the effects on cathode spot, 6th IEEE PES Asia-Pacific Power and Energy Engineering Conference, 2014
- K. Yamamoto, T. Hamada, S. Yanase, Effects of compressive stress normal to the surface of grain-oriented electrical steel sheets, 13th Int. Workshop on 1&2-Dim. Magnetic measurement and testing, 2014
- 宮城研吾, 富原盛裕, 原田繁実, 大学における消費電力と快適性を考慮した複数の空調機制御の開発, 平成 26 年電気学会電力・エネルギー部門大会, 2014
- Abdul Motin Howlader, Yuya Izumi, Akie Uehara, Naomitsu Urasaki, Atsushi Yona, Tomonobu Senjyu, and Ahmed Yousuf Saber, A Robust H^∞ Controller Based Frequency Control Approach Using the Wind-Battery Coordination Strategy in a Small Power System, International Journal of Electrical Power and Energy Systems, 2014
- Katsuto Takaesu, Naoto Taira, Naomitsu Urasaki, An Improved FOCV Method for MPPT Control of Stand-alone Solar Power System, The 20th International Conference on Electrical Engineering (ICEE2014), 2014
- Naoto Taira, Katsuto Takaesu, Naomitsu Urasaki, A MPPT Control Method for Photovoltaic System based on the Judgment of the State of Insolation, The 20th International Conference on Electrical Engineering (ICEE2014), 2014

- Abdul Motin Howlader, Naomitsu Urasaki, Atsushi Yona, Tomonobu Senjyu, and Ahmed Yousuf Saber, Stabilities Investigation of Wind Farms based DC Smart Grid System under the Line Fault Condition, The 20th International Conference on Electrical Engineering (ICEE2014), 2014
- Abdul Motin Howlader, Hiroki Ikema, Naomitsu Urasaki, and Tomonobu Senjyu, Reliability Investigations Under the Fault Operation for Distributed Wind Farms and Smart Houses Based Smart Grid System, 平成 26 年度電気学会九州支部沖縄支所講演会, 2014
- 高江洲克斗, 平良直登, 浦崎直光, 部分影解消後に動作可能な FOCV 法による PV システムの MPPT 制御, 平成 26 年度電気学会九州支部沖縄支所講演会, 2014
- 平良直登, 高江洲克人, 浦崎直光, 太陽光発電システムの電流センサレス化に向けたカルマンフィルタ設計, 平成 26 年度電気学会九州支部沖縄支所講演会, 2014
- 田原隼, 浦崎直光, 千住智信, 再生可能エネルギーを利用した EV 充電ステーション, 平成 26 年度電気学会九州支部沖縄支所講演会, 2014
- 有馬和哉, 與那篤史, 浦崎直光, 千住智信, M2M を用いた太陽光発電電力及び気象情報の監視収集システム, 平成 26 年度電気学会九州支部沖縄支所講演会, 2014
- 松尾一慶, 浦崎直光, 消費エネルギー予測に基づいた電気自動車用ハイブリッド電源の負荷配分に関する研究, 平成 26 年度電気学会九州支部沖縄支所講演会, 2014
- 浦崎直暁, 前新奏, 山里将朗, 比嘉晃, 化学ドーピング法によるアモルファス炭素薄膜のヨウ素ドーピング, 第 75 回応用物理学会秋季学術講演会, 2014
- 前新奏, 浦崎直暁, 山里将朗, 比嘉晃, ヨウ素ドーピングを施した a-C:H 薄膜の電気的特性評価, 第 75 回応用物理学会秋季学術講演会, 2014
- 江崎麦, 山里将朗, 比嘉晃, CdTe 上へのショットキー電極形成における表面処理の影響, 第 75 回応用物理学会秋季学術講演会, 2014
- 深見佳祐, 齋藤将人, 衛星通信に向けた OFDM/FM 方式へのコンパネディングの適用に関する検討, 電子情報通信学会技術研究報告, 2015
- 齋藤将人, 松田裕二, 周期時変指向性アンテナの到来信号数に対する受信ダイバーシチ利得, 電子情報通信学会 2015 年総合大会, 2015
- 井戸口勇介, 齋藤将人, 3 素子周期時変指向性アンテナのアンテナパターン解析, 電子情報通信学会 2015 年総合大会, 2015
- 荷川取裕二, 宮本晴望, 花城駿, 金子英治, 真空遮断器における熱による電極への影響, 平成 27 年電気学会全国大会, 2015
- 大城諒士, 玉城哲, 我那覇和奎, 金子英治, EMTP における垂直同軸ケーブルの取り扱い手法に関する提案, 平成 27 年電気学会全国大会, 2015
- 花城駿, 宮本晴望, 荷川取裕二, 金子英治, 直流小電流真空アークに横磁界を加えたときの特性に関する研究, 平成 27 年電気学会全国大会, 2015
- 田原隼, 享保亮祐, 比嘉将太, 與那篤史, 浦崎直光, 千住智信, 再生可能エネルギーの不確実性を考慮した EV 充電ステーション, 電気学会電力技術・電力系統技術・半導体電力変換合同研究会, 2015

松尾一慶, 浦崎直光, エネルギー収支に基づいた電気自動車用ハイブリッド電源の負荷配分制御, 電気学会電力技術・電力系統技術・半導体電力変換合同研究会, 2015

高江洲克斗, 平良直登, 浦崎直光, 部分影状態の変動周期に対する太陽光発電の MPPT 制御への影響, 平成 27 年電気学会全国大会, 2015

平成26年度研究業績 (2014年4月～2015年3月)

情報工学科

【論文】

Faramarz Alsharif, Shiro Tamaki, Katsumi Yamashita, Tustomu Nagado, Mohammad Reza Alsharif and Heung Gyoon Ryu, Joint of Feedback and Feedforward Controller on Application to Wireless Tele-Control System Considering Uncertainty, in Proceedings of the 2014 International Conference on Wireless Networks (ICWN), pp.125-131, WorldComp'14 Las Vegas Nevada, USA, July 21-24, 2014

Carlos Enrique Gutierrez, Mohamad Reza Alsharif, Cuiwei He, Mahdi Khosravy, Rafael Villa, Katsumi Yamashita and Hayao Miyagi, Tracking a Topic in News Stream by Particle Filtering, ICIC Express Letters, Vol. 8, No. 4, pp.1127-1134, 2014

Mahdi Khosravy, Natasha Punkoska, Faramarz Asharif and Mohammad Reza Asharif, Acoustic OFDM Data Embedding by Reversible Walsh-Hadamard Transform, ICCMSE 2014 10th International Conference of Computational Methods in Sciences and Engineering Athens Greece, pp.720-723, 2014

Mahdi Khosravy, Toni Draganov Stojanovski and Mohammad Reza Asharif, Stock Pricing Model Aided by Blind Component Processing, ICIC Express Letters, Vol. 8, No. 4, pp.1229-1236, 2014

Faramarz Asharif, Shiro Tamaki, Heung Gyoon Ryu, Katsumi Yamashita, Tsutomu Nagado, Tomokazu Nagata, Mohammad Reza Alsharif and Mahdi Khosravy, Design and Implementation of Feedback and Feed-Forward Controller in Wireless Tele-Control System Considering Equalization, ICIC Express Letters, Vol. 8, No. 4, pp.1213-1220, 2014

Cuiwei He, Mohammad Reza Asharif, Carlos Enrique Gutierrez, Katsumi Yamashita, Rui Chen and Mahdi Khosravy, Watermarking Technology for Digital Audio based on ICA and DWT, ICIC Express Letters, Vol. 8, No. 4, pp.1221-1227, 2014

Carlos Enrique Gutierrez, Mohammad Reza Alsharif, K. Yamashita, K. Yamashita, Uncovering Trending Topics on Data Stream by Linear Prediction Modeling, IJCSNS International Journal of Computer Science and Network Security, Vol. 14, No. 5, pp.1-7, 2014

Carlos Enrique Gutierrez, Mohammad Reza Alsharif, K. Yamashita, M. Khosravy, A Tweets Mining Approach to Detection of Critical Events Characteristics using Random Forest, IJNGC International Journal of Next-Generation Computing, Vol. 5, No. 2, pp.167-176, 2014

Carlos Enrique Gutierrez, Prof. Mohamad Reza Alsharif, Mahdi Khosravy, Prof. Katsumi Yamashita, Rafael Villa, Main Large Data Set Features Detection by a Linear Predictor Mode, ICCMSE 2014, 10th International Conference of Computational Methods in Sciences and Engineering Athens, Greece, pp.733-737, 2014

Carlos Enrique Gutierrez, Prof. Mohamad Reza Alsharif, Mahdi Khosravy, Prof. Katsumi Yamashita, Rafael Villa, Natural Disasters Topics Detection Over Twitter Data Stream, 29th SIP Symposium Kyoto ArashiYama Japan, pp.492-496, 2014

- Chibana Kengo, Mohammad Reza Asharif, Acoustic Echo Canceling Considering Nonlinearity of Speaker by Nonlinear Adaptive Digital Filters, Proceedings of the 2014 Joint Conference of the IEEJ and IEICE, pp.7-8, 2014
- Kota Tome, Morikazu Nakamura, GPU-based Construction of Petri Net Coverability Graphs, Proceedings of International Technical Conference on Circuit/Systems Computers and Communications, Vol. 2014, pp.849-852, 2014
- Kouta Toume, Daiki Kinjo, Morikazu Nakamura, A GPU algorithm for minimum vertex cover problems, International Conference of Computational Methods in Sciences and Engineering, Vol. 1618, pp.724-727, 2014
- Takeo Okazaki, Visualization of object relations for outlier finding, International Journal of Computer Science and Network Security, Vol. 14, No. 9, pp.5-11, 2014
- Jawid Ahmad BAKTASH and Tomokazu NAGATA, Formal Development of Electronic Identity Card System Using Event-B, Information Journal, Vol. 17, No. 9, pp.4677-4685, 2014
- Faramarz Asharif, Shiro Tamaki, Heung Gyoon Ryu, Katsumi Yamashita, Tsutomu Nagado, Tomokazu Nagata, Mohammad Reza Alsharif and Mahdi Khosravy, Design and Implementation of Feedback and Feedforward Controller in Wireless Tele-Control System Considering Equalization, International Journal on Innovative Computing, Information and Control, Vol. 8, pp.1213-1220, 2014
- 東るみ子, 早乙女理恵, 宮里智樹, 学習者からみた大学におけるデジタルコンテンツ教材の評価と課題, 日本 e-Learning 学会論文集, 第 14 号, 2014
- 上原和樹, 赤嶺有平, 當間愛晃, 根路銘もえ子, 遠藤聡志, デマンドバスと大型車両による協調型交通システムの提案, 情報処理学会論文誌, Vol. 56, No. 1, pp.46 - 56, 2015
- Jawid Ahmad BAKTASH, Tadashi SHIROMA, Tomokazu NAGATA, Yuji TANIGUCHI, Morikazu NAKAMURA and Musal DAWODI, Formal Implementation of Routing Information Protocol using Event-B, Information Journal, Vol. 18, No. 2, pp.705-718, 2015

【著書】

高良富夫, 音とことばの実験室, 琉球新報社, 2014

【口頭発表】

- Noble, Jason Doyle, Asharif, Mohammad Reza, ADS-B Spoofing in GNURadio, The Institute of Electrical Engineers of Japan (IEEJ), Technical meeting on Information Systems, pp. 53-55, Sep. 25-26, 2014
- Noble, Jason Doyle, Asharif, Mohammad Reza, Tomoki Miyazato, 16-QAM UHF Bit Error Rates with the bladeRF Software-Defined Radio, 29th SIP Symposium, Kyoto, ArashiYama, Japan, P3-2, pp.367-368, Nov. 11-14, 2014
- Ayako Ohshiro, Takeo Okazaki, Morikazu Nakamura, A study on complex decision tree construction for getting the rules of contig binding in DNA double assembly, 情報処理学会バイオ情報学研究会, 2014

- 青木史林, 岡崎威生, 名嘉村盛和, データ分割を適用した Gibbs Sampling Algorithm の拡張によるモチーフ抽出, 情報処理学会バイオ情報学研究会, 2014
- Taisaku Suzuki, Hai Minh TRAN, Tomohisa Wada, An Underwater Acoustic OFDM Communication System with Shrimp (Impulsive) Noise Cancelling, ComManTel2014, 2014
- Tran Minh Hai, Yasuto Matsuda, Taisaku Suzuki, Tomohisa WADA, ULTRASONIC DIVERSITY OFDM TRANCEIVER ARCHITECTURE WITH IMPULSIVE NOISE CANCELLING FOR SHALLOW SEA COMMUNICATION, UA2014, 2014
- 太田陽祐, 城間政司, 長田智和, 谷口祐治, 構造化オーバーレイにおける RFRT-Chord の改善, 電気学会九州支部沖縄支所講演会, 2014
- Tomio Takara, Speech Analysis and Synthesis of Ryukyuan and Asian Languages, Proceedings of the International Symposium on ICT for Environmental Sustainability, 2014
- 伊集竜之, 遠藤聡志, 山田孝治, 當間愛晃, 赤嶺有平, Twitter ユーザの年齢層推定のための有効な素性の検討, 第 24 回インテリジェント・システム・シンポジウム, 2014
- 山入端峻, 遠藤聡志, 山田孝治, 赤嶺有平, 當間愛晃, 走行のしやすさを考慮したパーソナルモビリティマップの作成, 第 24 回インテリジェント・システム・シンポジウム, 2014
- 山田義貴, 山田孝治, 遠藤聡志, フーリガンによる暴動行為シミュレーションの基礎研究, 第 24 回インテリジェント・システム・シンポジウム, 2014
- 新垣隆伍, 赤嶺有平, 上原和樹, 遠藤聡志, 根路銘もえ子, 中規模都市を対象とした集約型デマンドバスの経路計画手法の提案, 第 13 回情報科学技術フォーラム, 2014
- 池原洋, 高良修平, 神里志穂子, 佐竹卓彦, 山田孝治, マルチプラットフォームに対応した視野疑似体験システムの評価, 信学技報, 2014
- 潮平寛弥, 赤嶺有平, 遠藤聡志, 根路銘もえ子, 色情報を用いた屋外における日照変化に対してロバストなカメラ位置姿勢推定手法の提案, 第 13 回情報科学技術フォーラム, 2014
- 神里志穂子, 高良修平, 山田孝治, 佐竹卓彦, 眞喜志隆, 視野アセスメントツールと疑似体験ソフトの開発, 第 29 回リハ工カンファレンス, 2014
- 稲福政樹, 西島本純, 山田孝治, 遠藤聡志, 視線追跡装置による入力操作の研究, 第 24 回インテリジェント・システム・シンポジウム, 2014
- 稲福政樹, 西島本純, 山田孝治, 遠藤聡志, 赤外線 WEB カメラを用いた視線追跡装置の基礎研究, ロボティクス・メカトロニクス講演会 2014, 2014
- 與那嶺貴雄, 赤嶺有平, 上原和樹, 根路銘もえ子, 遠藤聡志, デマンドバスを対象としたマイクロ交通シミュレータの開発, 第 13 回情報科学技術フォーラム, 2014
- 長浜祐貴, 遠藤聡志, 山田孝治, 當間愛晃, 赤嶺有平, 複数の段階的な分類器による Twitter ユーザの属性推定手法の提案, 第 24 回インテリジェント・システム・シンポジウム, 2014
- 高良修平, 山田孝治, 遠藤聡志, 神里志穂子, 測定時の顔の向きを考慮した視野把握サポート システムの検討, 第 24 回インテリジェント・システム・シンポジウム, 2014
- 高良富夫, 平良優香里, 松茂良滉, 河野卓也, 音素獲得モデルにおけるスペクトルパラメータの検討, 日本音響学会春季研究発表会論文集, 2014

- 大城慶輔, 吉田たけお, 基数 4 の SD 加算器の構成と性能評価, 電気学会九州支部沖縄支所講演会講演論文集 Vol. OKI-2014-03, 2014
- 大城慶輔, 吉田たけお, 2^2 値論理を用いた Ling 加算器の高速化手法, 電気学会九州支部沖縄支所講演会講演論文集 Vol. OKI-2014-01, 2014
- 大城慶輔, 吉田たけお, 2^2 値論理を適用した桁上げ選択加算器の性能評価, 電気学会九州支部沖縄支所講演会講演論文集 Vol. OKI-2014-02, 2014
- Yogalakshmi Kannaiahnaidu, Yasuyuki Miyazato, Said Mohamed Said, Morikazu Nakamura, Asynchronous Hybrid Evolutionary Computation for Nonlinear Discrete Optimization, Proceedings of International Technical Conference on Circuit/Systems Computers and Communications, 2014
- Yasuyuki Miyazato, Said Mohamed Said, Morikazu Nakamura, A parallel simulated annealing for VANETs QoS optimization, Proceedings of International Technical Conference on Circuit/Systems Computers and Communications, 2014
- 神谷美希, 當間愛晃, 小説検索システムのためのプロット作成に関する基礎研究, 情報処理学会 第 77 回全国大会, 2015
- 平良浩嗣, 當間愛晃, 赤嶺有平, 山田孝治, 遠藤聡志, 感情推定に基づく小説推薦システムのための認知的評価質問セットを用いたシミュレーション, 情報処理学会 第 77 回全国大会, 2015
- 慶留間諒大, 當間愛晃, 赤嶺有平, 山田孝治, 遠藤聡志, 可変長 N-gram に基づいたトピックへのラベル選択の検証, 情報処理学会 第 77 回全国大会, 2015
- 玉城翔, 當間愛晃, 赤嶺有平, 山田孝治, 遠藤聡志, Deep Learning におけるコストを考慮した Dropout 率制御に関する検証, 情報処理学会 第 77 回全国大会, 2015
- Ganganath SHANMUGALINGAM, Tomokazu NAGATA, Yuji TANIGUCHI, AUTOMATED DATA CENTER FAILOVER-FAILBACK FOR DISASTER RECOVERY FOR ACADEMIC NETWORKS USERS AS WELL AS COMERCIAL DATA CENTER USERS, 電気学会通信研究会, 2015
- 高良富夫, 山城駿佑, 大石節, 母音スペクトル空間上の主成分を用いる音声合成の検討, 日本音響学会春季研究発表会論文集, 2015
- 高良富夫, 松茂良滉, 宮平雄介, 音素獲得モデルにおけるマグネット効果の検討, 日本音響学会春季研究発表会論文集, 2015

【学外活動】

- 和田知久, [特別講演]浅いマルチパス環境対応水中OFDM 通信システム開発, 電子情報通信学会, 2014

退 職 者 紹 介



森下 陽一 (モリシタ ヨウイチ)

工学部 環境建設工学科・教授



波平 宜敬 (ナミヒラ ヨシノリ)

工学部 電気電子工学科・教授

※表記：氏名

退職時の所属・役職